

● 株主の皆様へ ●

第58期報告書

2017年3月1日 ▶ 2018年2月28日

証券コード：9945

株式会社 プレナス

Plenus



代表取締役社長 塩井 辰男

■ 2018年2月期 連結業績サマリー

売上高	1,457 億円	前期比 +3.4%
売上原価	677 億円	前期比 +7.1%
売上総利益	779 億円	前期比 +0.3%
販売費及び一般管理費	729 億円	前期比 +3.5%
営業利益	49 億円	前期比 △30.8%
経常利益	52 億円	前期比 △31.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	23 億円	前期比 △41.7%
国内グループ店舗数	3,107 店舗	前期比 +85 店

■ 2019年2月期 連結業績予想

通期の連結業績は、売上高 1,593 億円（前期比 9.3% 増）、営業利益 37 億円（25.7% 減）、経常利益 41 億円（22.1% 減）、親会社株主に帰属する当期純利益 16 億円（32.0% 減）と予想しております。

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。ここに、当社グループの 2018 年 2 月期の業績と主な取り組みについてご報告いたします。

当期の経営概況と業績

当期における外食産業は、業種や業態の垣根を越えた顧客獲得競争の激化に加え、労働力不足による人件費の上昇等から引き続き厳しい事業環境が続きました。

こうした状況の中、当社グループは売上の回復及び収益力の強化に注力すると共に、今後の成長に向けた設備投資を行いました。

売上回復策につきましては、当社の強みである“店内調理による手作り”だからこそ提供できる商品の発売やキャンペーンを実施し、お客様の来店促進を図りました。

収益力の強化につきましては、効率的な広告宣伝内容への見直しのほか、引き続きコストの効率化を図ると共に、「ほっともっと」において、コンパクトで生産性の高い新タイプ店舗での出店を推進いたしました。また、店舗の改装・移転を積極的に行いました。

今後の成長に向けた設備投資につきましては、より精緻な購買データを蓄積できる ID-POS を「ほっともっと」全店に導入しました。これにより、お客様のニーズを捉えた魅力ある商品の開発や、ダイレクトな販売促進活動をさらに推進してまいります。

当期の連結業績につきましては、既存店売上高が前期実績を下回ったものの、宮島醤油フレーバー（株）など新規連結子会社の売上増加が主な要因で、増収となりました。利益面につきましては、為替等による仕入コストの低減や効率的な広告宣伝内容への見直しでコストの効率化に努めましたが、既存店売上高の減少や、ID-POS 導入

コストの発生で、減益となりました。

今後の取り組みについて

お客様の満足度向上に努めるべく、商品力と店舗販売力の強化を最優先に取り組んでまいります。

商品力の強化につきましては、当社グループだから提供できる、競合他社が真似できない商品の開発に注力し、優位性の再構築を図ります。「ほっともっと」につきましては、ID-POSからの販売データ等を活用したマーケットインによる商品開発や基幹商品のブラッシュアップを推進すると共に、商品の本質的な価値を訴求し続けていく効果的なプロモーション活動を実施いたします。「やよい軒」につきましては、既存商品のリニューアル、新商品の定期的な発売によって、顧客満足度の向上を目指します。「MKレストラン」につきましては、引き続き幅広いお客様のニーズへの対応を図ります。

店舗販売力強化につきましては、クルーの採用・育成

強化及び従業員満足向上、新厨房機器の導入やシステム投資による店舗オペレーションの改善、サプライチェーンマネジメントの強化に注力し、お客様の満足度向上に努めてまいります。

なお、埼玉県の新戸物流センター敷地内に建設中の食品総合工場につきましては、2018年8月に完成予定で、10月の稼働に向け、順調に進行しております。

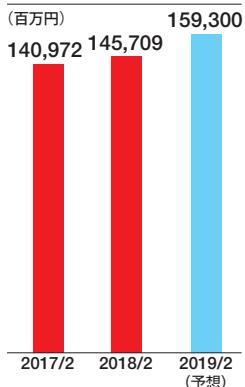
配当金について

当社は、年間配当60円または、年間配当性向50%（連結ベースでの1株当たり当期純利益）を達成する金額のいずれか高い額をお支払いすることを、配当の基本方針としております。これに基づき、当期の配当金は、1株当たり60円（内、中間配当金30円）とさせていただきます。なお2019年2月期は、年間配当60円を予想しております。

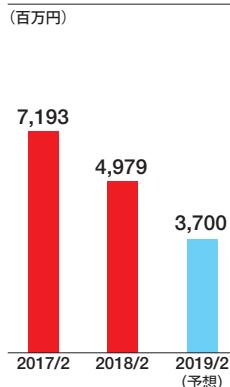
株主の皆様には、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■ 連結業績の推移

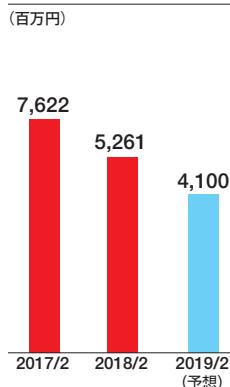
売上高



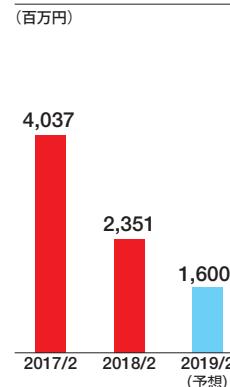
営業利益



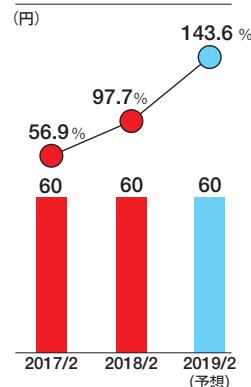
経常利益



親会社株主に帰属する 当期純利益

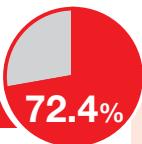


配当金・配当性向



事業別の概況

売上構成比



ほっともっと事業

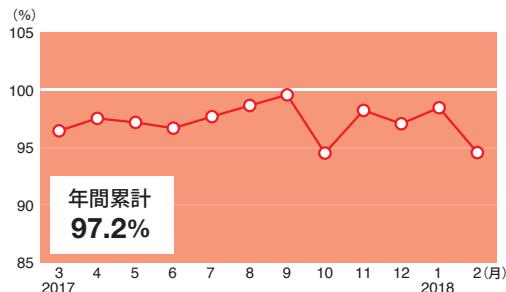
つくりたてのあたたかいお弁当を販売する「ほっともっと」を全国で展開しています。持ち帰り弁当のトップブランドとして、おいしいごはんにこだわり厳選した高品質の国産米を使用し、店内調理によるできたてのお弁当を提供しています。



	2018年2月期 実績	前期比
売上高	1,055 億 58 百万円	△ 1.8%
営業利益	39 億 76 百万円	△ 33.8%
国内店舗数		
出店数	97 店	+ 26
退店数	35 店	△ 64
期末店舗数	2,723 店	+ 62

※「BizLunch」は、2017年8月末をもって全店舗退店しました。

既存店売上高前年比推移



■ 当期の業績について

定番商品である「のり弁当」が平日昼限定で290円となるサービスや、人気メニューを週替わりでお得な価格でご購入いただける「週刊ほっともっと」、スマートフォンを利用した新会員サービス「My Hotto Motto」をスタートするなど、お客様の来店頻度向上に注力すると共に、コミュニケーションアプリ LINE のほっともっと公式アカウントからキャンペーン、新商品などの情報やクーポンを配信する等、新たな販売促進活動にも取り組みました。また、定番メニューの「から揚げ弁当」を食感、味付けにこだわってリニューアルし、390円へ価格変更を行うなど、より魅力的な商品の提供に努めました。

一方で、収益力の一層の強化を図るため、引き続きコストの効率化を図ると共に、コンパクトでより生産性の高い店舗での出店を進めました。また、精緻な購買データを蓄積するための、ID-POSの導入を行いました。

店舗展開につきましては、ほっともっとの新規出店を97店舗、退店を35店舗行い、店舗数は当期末現在、47都道府県で2,723店舗となりました。フランチャイズ展開も引き続き推進しており、「ユニットFC制度」を活用

〔国内店舗数と店頭売上高の推移〕



※「BizLunch」を2016/2期に3店舗、2017/2期に10店舗含みます。

して新規オーナーの獲得及び既存オーナーの多店舗化を進めた結果、ユニットFCの店舗数は前期末から123店舗増加し、当期末現在で1,044店舗と着実に増加しております。

当期の業績につきましては、売上高は新店による売上増加があったものの、既存店売上高の減少により、前期実績を下回りました。営業利益につきましては、効率的な広告宣伝内容への見直しや為替等による仕入コストの低減があったものの、既存店売上高の減少や、ID-POS導入コストの発生により、前期実績を下回りました。

■ 今後の取り組みについて

マーケティング施策につきましては、2017年9月1日より、スマートフォンを利用したお得な会員サービスを導入いたしました。ID-POSとの連携によりお客様の購買データの蓄積が可能となったため、ターゲット層を精査して商品設計することで、多様なお客様のニーズへの対応を図

てまいります。同時に、基幹商品のブラッシュアップを推進し、より魅力的な商品の開発に努めてまいります。2018年4月からは新ブランドスローガン「やっぱり、お弁当屋さんのおべんとうはおいしい。」を策定し、年間を通じ、「ほっともっと」の本質的な価値である「できたてでおいしい」と「べんりで手軽」を訴求するブランドキャンペーンを、TVCMを中心にやってまいります。

また、店舗の販売力強化に注力するため、新厨房機器の導入や店舗オペレーションの見直しを行います。同時に、クルー採用の強化、教材ツール見直しや昇給制度の導入、福利厚生充実を推進することで従業員満足向上を図ると共に、生産性の向上に努めてまいります。

これらの施策を推し進めながら、ユニットFCによるフランチャイズ展開の拡大も継続し、さらなる成長を目指してまいります。

〔加盟店舗数(ユニットFC店舗数含む)の推移〕



ほっともっとLINE公式アカウント

「ほっともっと」ではコミュニケーションアプリLINE公式アカウントを活用して、新商品・キャンペーン情報やクーポンの配信、WEB注文への簡単アクセスなど、お客様とのコミュニケーションシーンの拡大に努めています。



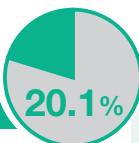
LINEアプリを起動して
[その他]タブの[友だち追加]で
QRコードをスキャンします。



クーポンや新商品、
キャンペーン情報を
配信!

事業別の概況

売上構成比



やよい軒事業

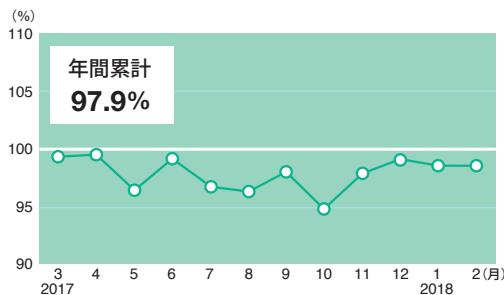
日本人の主食である炊きたてのごはんを中心に、みそ汁、そしておかずと副菜などを一つのお膳にバランス良くまとめた『定食』を提供しております。

大切な食事の時間を心から楽しんでいただけるよう、店内は和の落ち着いた雰囲気でご心地のよい空間を演出しております。



2018年2月期 実績		前期比
売上高	293億11百万円	+0.1%
営業利益	14億65百万円	+17.9%
国内店舗数		
出店数	27店	△11
退店数	5店	△1
期末店舗数	351店	+22

既存店売上高前年比推移



■ 当期の業績について

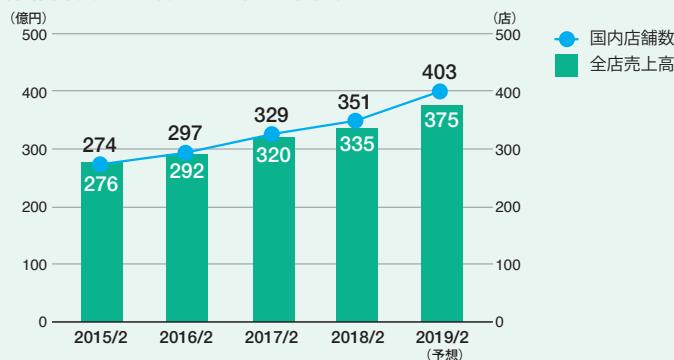
素材や手づくり感にこだわった定食メニューをお手頃な価格で提供することを基本に、たっぷりの野菜を食べられるバランスの良い「若鶏と野菜の黒酢あん定食」や、期間限定の鍋定食など、季節感を取り入れた商品を適宜発売し、お客様の幅広いニーズへの対応を図りました。また、お客様に快適にご利用いただけるよう、店舗のQSC向上に努めると共に、テレビCMの放映を効果的に実施し、お客様の来店促進を図りました。

店舗展開につきましては、東北エリアへの初出店を含め、国内で27店舗出店し、事業エリアの拡大を図りました。退店は5店舗行い、店舗数は当期末現在、37都道府県で351店舗となりました。

また、「ユニットFC制度」を活用した新規オーナーの募集と既存オーナーの多店舗化に注力し、ユニットFCの店舗数は、前期末から15店舗増加し、当期末現在で84店舗となりました。

さらに、“パートナーチェーン(PC)制度”を、今期よりスタートいたしました。これは、店舗経営の受託を希望する方を募り、店舗経営を委託するシステムです。経営委託店舗は、受託者が経営者としての立場から店舗運営に当たることでモチベーションが高まり、店舗の収益や管理レ

〔国内店舗数と店頭売上高の推移〕



ベルの向上につながっていくことが期待できます。この制度を利用したPC店舗は、当期末現在で17店舗となりました。

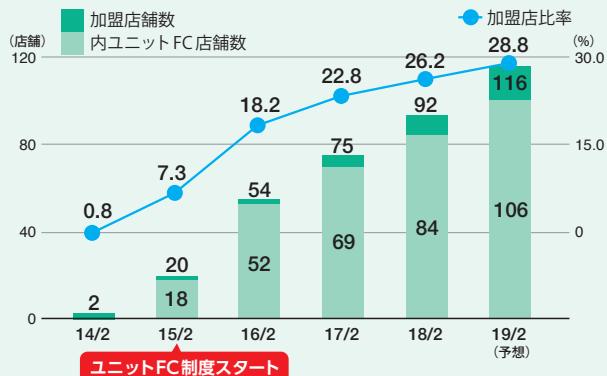
当期の業績につきましては、売上高は既存店売上高の減少や直営店の加盟店への移管があったものの、新規出店により店舗数が増加したことが要因で、前期実績を上回りました。営業利益につきましても、為替等による仕入コストの低減等により、前期実績を上回りました。

注) 直営店を加盟店に移管することにより、当社の売上高は、店頭売上高ではなく、加盟店に対する食材・包材等資材の販売金額やロイヤリティ等の収入が対象となるため、減少します。

■ 今後の取り組みについて

商品施策につきましては、既存商品の価格見直しやブラッシュアップを行うと共に、季節感や郷土性を意識した新商品を定期的に発売し、お客様の満足度及び来店頻度の向上、女性やシニア層のお客様の取り込みを図ってまいります。

〔加盟店舗数(ユニットFC店舗数含む)の推移〕



ます。

店舗展開につきましては、国内の未出店エリアへの新規出店と、既存エリアへの出店を並行して推進し、次のステップである500店舗体制を目指してまいります。

また、「ユニットFC制度」を活用したフランチャイズ展開につきましても、引き続き新規オーナーの獲得に注力すると共に、既存オーナーの多店舗化も推進してまいります。これに、「パートナーチェーン制度」も併せて推進することで、事業基盤を強化してまいります。

これらの施策により、中長期的な事業規模の拡大を図ってまいります。

2018年
4月27日

徳島県初進出 徳島川内町店オープン

住 所：徳島市川内町加賀須野 1060 番
営業時間：10:00～23:00 (オーダーストップ 22:30)
座 席 数：76 席
T E L : 088-666-0913

事業別の概況

売上構成比

2.4%

MKレストラン事業

「MK レストラン」は、豊富な具材と個性豊かなスープの組み合わせで、新しい美味しさを何度でも味わえるこだわりのしゃぶしゃぶに加え、本格飲茶や寿司を提供するレストランです。

充実の食べ放題コースの他に、気軽に食べられるセットメニューやランチメニューもご用意しております。



2018年2月期 実績		前期比
売上高	34億48百万円	+ 1.4%
営業利益	1億33百万円	△ 52.9%
国内店舗数		
出店数	2店	± 0
退店数	1店	+ 1
期末店舗数	33店	+ 1

既存店売上高前年比推移



■ 当期の状況や今後の取り組みについて

豊富な具材と個性豊かなスープが選べるしゃぶしゃぶに、季節限定のスープや特選具材を取り揃える等、商品力の強化に努めました。また、お手頃価格の「鶏しゃぶしゃぶ食べ放題」、期間限定で「トマト鍋スープ」を販売するなど幅広いお客様のニーズへの対応も図りました。加えて、店舗のQSC向上に努めると共に、テレビCMの放映やメール会員向けのキャンペーンを実施し、お客様の来店促進を図りました。

店舗展開につきましては、東京都4店舗目となる渋谷井の頭通り店をオープンいたしました。今後は関東圏のほか、関西圏にも出店エリアを広げてまいります。

当期の業績につきましては、売上高は既存店売上高が減少したものの、新規出店による店舗数の増加等により、前期実績を上回りました。営業利益につきましては、人件費や新規出店に係るイニシャルコストの増加等により、前期実績を下回りました。

2018年
3月7日

広島県初進出

MKレストラン高取北店オープン

住 所：広島県広島市安佐南区高取北3丁目1-42

営業時間：11:00～23:00 (ラストオーダー 22:30)

座 席 数：82席

T E L : 082-836-6500



売上構成比

1.4%

海外事業

日本のおいしい食をもっと多くの皆様に提供するために、海外への展開を積極的に行っています。世界の人々に「つくりたてのおいしい食」、「お客様に満足していただけるサービス」をお届けしてまいります。



2018年2月期 実績		前期比
売上高	19億73百万円	+131.6%
営業損失	5億75百万円	—
海外店舗数		
出店数	30店	△3
退店数	10店	+6
期末店舗数	212店	+20

海外店舗数の推移



■ 当期の状況や今後の取り組みについて

第1四半期連結会計期間より、従来の「ほっともっと事業」、「やよい軒事業」に含めていた「海外事業」につきまして、重要性が高まったことに伴い、報告セグメントとしております。

また、北京好麦道餐飲管理有限公司（中国）、Plenus Global Pte.Ltd.（シンガポール）、Plenus, Inc.（米国）に加え、PLENUS AusT PTY. LTD.（オーストラリア）を連結対象としております。

当連結会計年度におきましては、事業の黒字化を目指して売上の拡大とコストの最適化に努めると共に、出店を進めて事業の拡大を行いました。引き続き各国の市場やニーズに柔軟に対応し、今後の成長の柱となるよう取り組んでまいります。

2018年
1月18日「やよい軒」マレーシア初進出
YAYOI Lot10店をオープン

「YAYOI Lot10店」は、クアラルンプールにある大型ショッピングセンター内の日系レストランを集結させたダイニングに2017年12月にオープンしました。和の『定食』を中心に、丼やうどん、アラカルトメニューも豊富に取り揃え、日本の「やよい軒」の味をそのままに、マレーシアの皆様にお届けしてまいります。



トピックス



Hotto Motto
ほっともっと

店内調理の特長を活かし、素材選び、味付けなど、こだわり抜いた商品を提供

「ほっともっと」は、“店内調理による手づくり”を特長とした商品を提供することにより、競合との差別化を図っております。

東日本では濃口醤油、西日本では本醸造醤油をベースにした『すきやき弁当』や、食感、味付け、価格にこだわってリニューアルした『新・から揚げ弁当』など、定番メニューだからこそこだわり抜いた商品を提供しました。

あったかメニューが今年も登場
『すきやき弁当』『Wすきやき弁当』

10月24日発売



肉2倍！
『W焼肉弁当』

11月1日発売



11月・12月

9月・10月

2017年

牡蛎の季節が到来！
『かきフライミックス定食』

10月3日発売



肉の旨味を焼き立てで
『カットステーキ定食』

12月8日発売



旬の素材へのこだわりやバリエーション展開による飽きさせないメニューを提供

「やよい軒」は、日本人の主食である炊きたてのご飯を中心に、素材や手づくり感にこだわりながら、みそ汁、おかず、副菜等を一つのお膳にバランスよくまとめた『定食』を、お手頃な価格で提供しております。

『かきフライミックス定食』などの季節感を取り入れた商品、選べる3種類の『カットステーキ定食』、そして今年は大好評冬の鍋定食を8種のラインナップとするなど、幅広いお客様ニーズへの対応を図りました。

食感、味付け、価格にこだわって
『新・から揚げ当』

1月18日発売



MKレストラン
CLOSE UP

期間限定! 新しい味のご提案

レモン塩鍋スープ

「丹波産赤鶏」の鶏ガラをじっくりと炊き出した出汁をベースに、沖縄県久米島沖の海洋深層水を100%使用したミネラル豊富な塩やホタテ、昆布、椎茸のうま味をブレンドした塩スープ。サツとくぐらせたレモンの爽やかな香りと酸味がスープの旨みをさらに引きたてます。スープと相性が良い「新たまねぎ」、「春キャベツ」など、特選具材9種も用意しております。メはこんにやく麺で最後までヘルシーにお楽しみいただけます。

具材や薬味の組み合わせはお客様次第。「野菜中心のヘルシー鍋」「お肉をたくさん」など、ご来店毎にテーマを決めて、ご家族と、友人と、お仕事仲間と、MKのしゃぶしゃぶをお楽しみください。

詳しくは
Webサイトへ



1月・2月

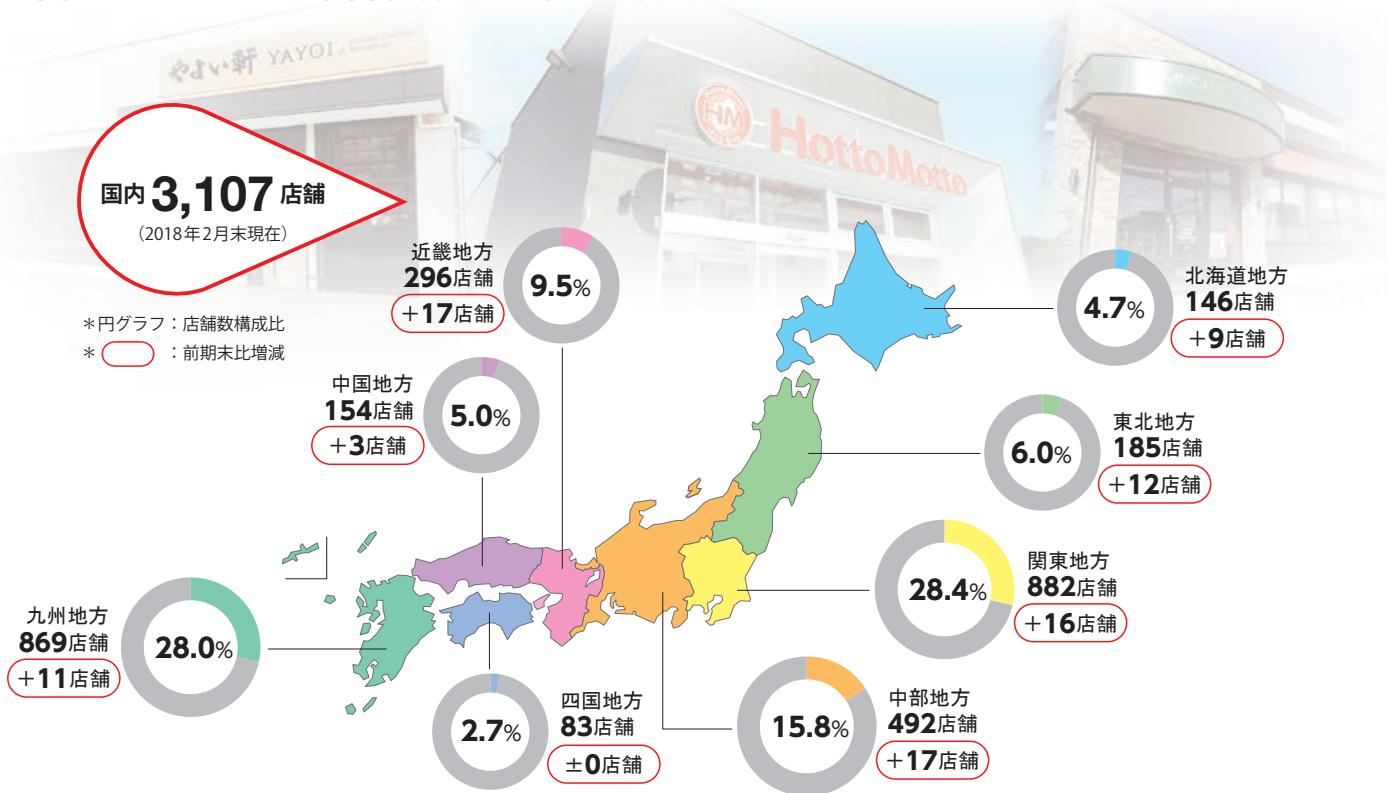
2018年

具材たっぷり、特製中華あん
『豚肉と白菜のあんかけ鍋定食』

1月5日新発売



当社グループの国内店舗展開の状況

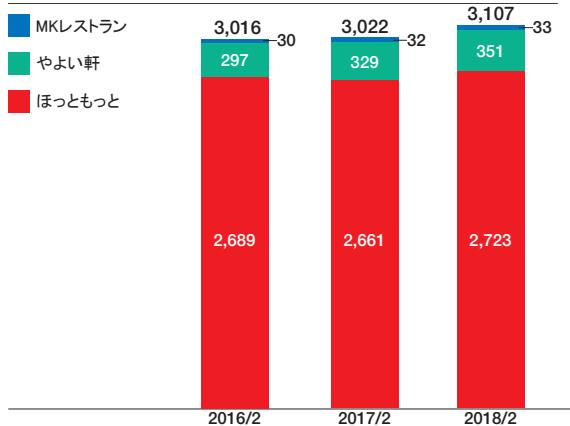


ブランド別・エリア別店舗数 (2018年2月末現在)

	ほっともっと	やよい軒	MKレストラン	エリア別合計
北海道地方	138	8	0	146
東北地方	183	2	0	185
関東地方	748	130	4	882
中部地方	454	38	0	492
近畿地方	215	81	0	296
中国地方	130	23	1	154
四国地方	80	3	0	83
九州地方	775	66	28	869
ブランド別合計	2,723	351	33	3,107

※都市型の持ち帰り弁当店「BizLunch(ビズランチ)」は、2017年8月末をもって全店舗退店しました。

ブランド別店舗数の推移



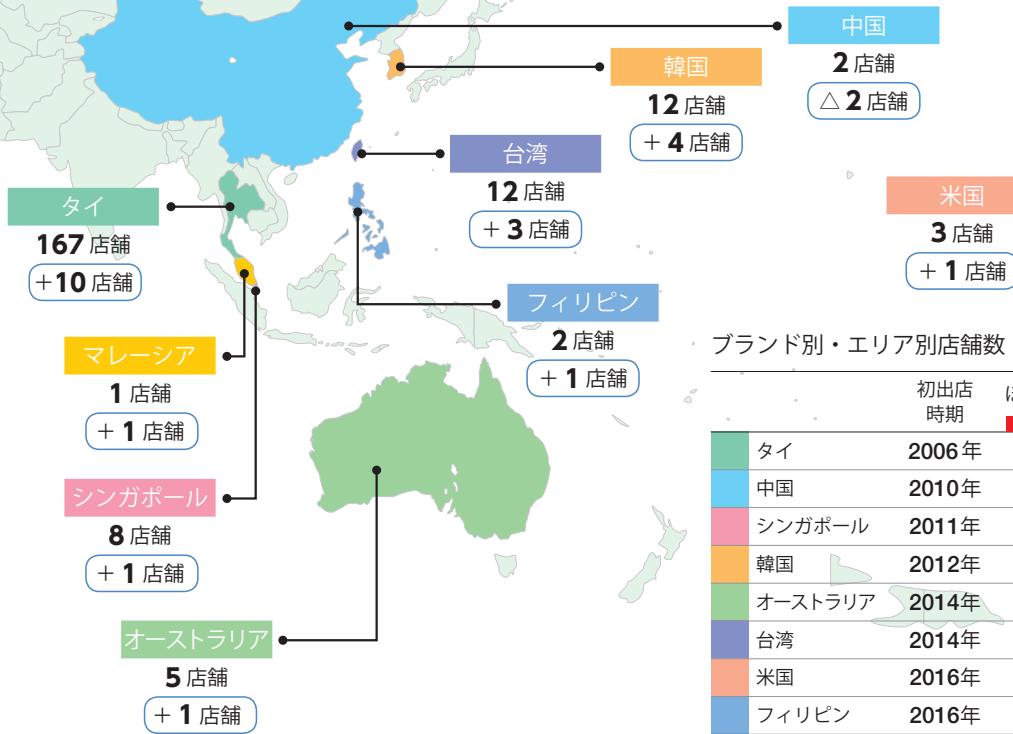
日本の食文化を世界へ。 つくりたてでおいしく、安心安全な食事を提供します。

日本のおいしい食をもっと多くの皆様に提供するために、海外への展開を積極的に行っています。世界の人々に「つくりたてのおいしい食」、「お客様に満足していただけるサービス」をお届けいたします。

海外 **212** 店舗

(2018年2月末現在)

* : 前期末比増減



ブランド別・エリア別店舗数 (2018年2月末現在)

	初出店 時期	ほっともっと	やよい軒	エリア別 合計
タイ	2006年	0	167	167
中国	2010年	2	0	2
シンガポール	2011年	0	8	8
韓国	2012年	12	0	12
オーストラリア	2014年	1	4	5
台湾	2014年	0	12	12
米国	2016年	0	3	3
フィリピン	2016年	0	2	2
マレーシア	2018年	0	1	1
ブランド別合計		15	197	212

財務データ

■ 連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

	当連結会計年度	前期比
売上高	145,709	4,736 (+ 3.4%)
売上原価	67,743	4,474 (+ 7.1%)
売上総利益	77,965	262 (+ 0.3%)
販売費及び一般管理費	72,985	2,476 (+ 3.5%)
営業利益	4,979	△ 2,213 (△30.8%)
経常利益	5,261	△ 2,360 (△31.0%)
親会社株主に帰属する当期純利益	2,351	△ 1,685 (△41.7%)

■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要約) (単位:百万円)

	当連結会計年度	前期比
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,466	△ 5,138
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 8,432	2,579
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,383	△ 84
現金及び現金同等物に係る換算差額	2	63
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 4,347	△ 2,578
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	103	△ 264
現金及び現金同等物の期末残高	11,181	△ 4,244

■ 連結貸借対照表(要約)

(単位:百万円)

	当連結会計年度末	前期末比
流動資産	25,256	△ 8,806
固定資産	66,243	7,569
負債	25,401	△ 1,183
純資産	66,098	△ 53
総資産	91,499	△ 1,236

■ 主な経営指標

(単位:%)

	当連結会計年度	前期比
売上高営業利益率	3.4	△ 1.7
ROE	3.6	△ 2.6
自己資本比率	71.6	+ 0.8

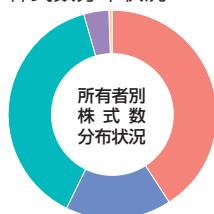
会社概要 (2018年2月28日現在)

商号	株式会社プレナス (英文名 PLENUS Co., Ltd.)
創業	1960年3月
設立	1976年11月
資本金	34億61百万円
福岡本社	福岡県福岡市博多区上牟田一丁目19番21号
東京本社	東京都中央区日本橋茅場町一丁目7番1号
従業員数	1,320名 上記従業員のほか、パートタイマーの期中平均雇用人員は6,237名(1日8時間換算)であります。

株式の状況 (2018年2月28日現在)

発行可能株式総数	92,568千株
発行済株式の総数	44,392千株
株主総数	65,436名

株式数分布状況



所有者別株式数分布状況	株式数(千株)	構成比率(%)
個人・その他	18,174	40.9
金融機関	7,297	16.4
その他国内法人	17,023	38.3
外国法人等	1,728	3.9
証券会社	168	0.4

*個人・その他には、自己名義株式6,103千株(13.7%)を含んでおります。

グループ会社 (2018年2月28日現在)

【国内】(子会社)	(株)プレナス・エムケイ
	(株)プレナスフーズ
	(株)プレナスワークサービス**
	宮島醤油フレーバー(株)
	(株)フーディフレーバー
(関連会社)	(株)九州トーヨー
【海外】(子会社)	北京好麦道餐飲管理有限公司(中国)
	PLENUS AusT PTY. LTD.(オーストラリア)
	臺灣富禮納思股份有限公司(台湾)**
	Plenus, Inc.(米国)
	Plenus Global Pte. Ltd.(シンガポール)
	BayPOS, Inc.(米国)**
	(関連会社)
YK Food Service Co., Ltd.(韓国)**	

**連結の範囲に含まない子会社及び関連会社

役員 (2018年5月25日現在)

代表取締役社長 社長執行役員	塩井 辰男
専務取締役 専務執行役員	大楠 泰弘
専務取締役 専務執行役員	田淵 豪
常務取締役 常務執行役員	金子 史朗
常務取締役 常務執行役員	鈴木 博
常務取締役 常務執行役員	布山 稔
取締役 上席執行役員	立花 英信
社外取締役	長沼孝一郎
取締役 監査等委員	高橋 勉
社外取締役 監査等委員	礪山 誠二
社外取締役 監査等委員	吉戒 孝
社外取締役 監査等委員	松淵 敏朗
上席執行役員	山内チズル
執行役員	一條 眞理
執行役員	田中 信
執行役員	森安 秀範
執行役員	香月 英樹
執行役員	漆 新吾
執行役員	小森 剛
執行役員	添島 修
執行役員	嶋田 哲
執行役員	山村 昌慶
執行役員	廣藤 明
執行役員	酒井 直隆

株主メモ

決算期	2月末日
定時株主総会	毎年5月
株主確定日	
定時株主総会	2月末日
期末配当	2月末日
中間配当	8月31日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。(当社ホームページに掲載。)但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人及び特別口座管理機関	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
株主名簿管理人事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
郵便物送付先及び電話お問合せ先	〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 ☎ 0120-288-324

株式事務手続きについて

株式事務に関する各種手続き(住所変更、配当金の振込先指定、単元未満株式の買取・買増請求等)のお問合せ先は、次のとおりとなっております。

■証券会社等の口座に記録された株式に関するお問合せ先
お取引のある証券会社等へお問合せください。

■特別口座に記録された株式に関するお問合せ先
みずほ信託銀行株式会社(特別口座管理機関)へお問合せください。
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
電話 ☎ 0120-288-324

※未払い配当金について
未払い配当金につきましては、上記いずれの場合も当社株主名簿管理人のみずほ信託銀行株式会社へお問合せください。

株主優待制度について

長期的かつ安定的に株式保有していただける株主の増加を図ることが重要であるとの判断のもと、制度の一部を変更いたします。(下記の下線部)

(1) 対象となる株主様

毎年2月末日の株主名簿に記載、または記録された100株(1単元)以上を1年以上継続保有されている株主様を対象といたします。

※1年以上継続保有とは、「当年2月末日現在の株主名簿に記載、または記録され、かつ同じ株主番号で前年の2月末日、8月末日に記載、または記録されていること」といたします。

(2) 優待の内容

毎年2月末日の対象株主様に、当社グループ国内店舗で使用可能な株主様限定の『株主お買物優待券』を贈呈いたします。(年1回)

保有株式数	優待内容
100株以上 1,000株未満	500円『株主お買物優待券』5枚
1,000株以上	500円『株主お買物優待券』10枚

(3) 贈呈の時期

5月下旬にご送付いたします。



株主お買物優待券見本

当社の株主優待制度は、「ほっともっと」「やよい軒」「MK レストラン」で『株主お買物優待券』をご利用いただける制度です。当社グループ店舗をご利用いただき、当社グループの商品・サービスに対するご理解を深めていただければ幸いです。

お問合せ先

株式会社プレナス 会計本部 経営管理室

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町一丁目7番1号 日本橋弥生ビルディング TEL.03-6892-0304
ホームページアドレス <https://www.plenus.co.jp/>